

# 山行報告書

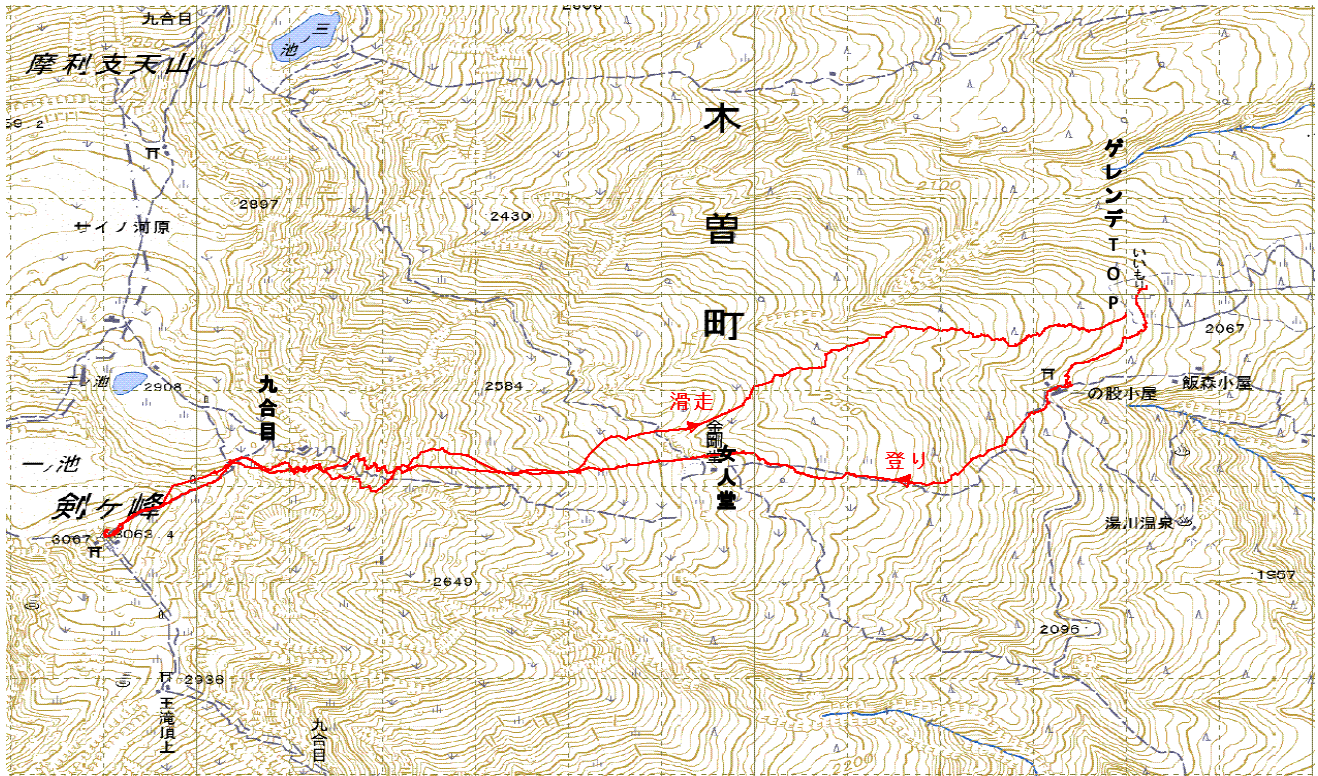
報告書作成

2013年5月28日

山名 [山域]	木曾・御岳山	目的と方法	御岳山のスキー滑降
登山期間	2013年5月25日	山行形態	日帰り山スキー
参加人数	4人		

## 行動記録: 【5/25(土)、快晴】

岡崎P(0515発)===御岳ロープウェイP(0810着)+++ゲレンデTOP(0910発)---女人堂(1040,1100)---九合目稜線(1305,1320)---山頂(1345,1400)---九合目稜線(1410,1440)---ゲレンデTOP(1550着)+++御岳ロープウェイP(1620着)===温泉・夕食===岡崎P(2130)



## 記録:

- ・御岳ロープウェイが25日より夏季営業開始と聞いて、御岳の山スキーに行ってきました。
- ・初日は記念日として先着25名に無料券をプレゼントとのことなので、あわよくばと期待しましたが、受付に1時間も前から並んでたそうで、全然間に合いませんでした。
- ・駐車場で支度をしていると、ロープウェイ職員が1台1台廻って注意を呼びかけてます。残雪が多く、下山時の道迷いで救助要請する登山者が相次いでいるそうです。我々もGPS3台をスタンバイして万全を期します。
- ・8:45にロープウェイを出発。青空にクッキリと残雪の山頂を眺めているうちに、2150mまで運ばれます。
- ・ロープウェイを降りてから樹林帯を抜けるまで1時間ほどは、板を担いで登山道を歩きます。広い台地状になった所でシール歩行に切り換え。
- ・富山&新潟から来ている女性2人組と一緒にいるが、御岳は初めてというので、以降、行動を共にする。お2人はなかなかベテランのようで、地元の山スキーの話が絶えません。
- ・尾根上の夏道は這松が出ているので、登山道を離れて沢沿いに巻きながら進む。石室山荘の上で1本左の雪渓に移り、そのまま稜線まで詰め上げます。
- ・九合目の上で雪渓が終わり、稜線上の登山道に出ました。滑り出しは此处からですが、皆さん山頂まで登るので、荷物をデポして山頂を往復します。
- ・下山はデポ地点まで戻って滑走開始します。5月に入ってから降雨が多いようで、雪面は雨溝で洗濯板状態。おまけに、亀裂も所々にあって、足下に注意しないと板を取られることが多く、転倒者が続出です。
- ・樹林帯に入ってから更に最悪で、密な針葉樹帯のうえにツリーホールが発達していて危険きわまりません。まるで釘や穴を避けながら転がるパチンコ玉のような滑りが続きます。全くもって、苦難、難渋の道のりでした。(^^)

## 感想:

シーズン末期の悪雪に七転八倒の思いでしたが、それでも山スキーは止められないのです。…まるでマゾ集団ですね(笑)。なにとはもあれ、今季の締めとして相応しい山行でした。

参加者名

改定: 2004.08.24